

【補助事業概要の広報資料】

補助事業番号 23-63
補助事業名 平成23年度超電導技術振興のための普及啓発 補助事業
補助事業者名 公益財団法人 国際超電導産業技術研究センター

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

エネルギー・電力あるいはエレクトロニクス分野などで超電導技術実用化の期待が高まる中、研究開発・技術開発に支援するため、超電導応用技術の早期実用化を加速・促進し、もって機械工業の振興に寄与する。

(URL) http://www.istec.or.jp/istec/pdf/H23_purpose.pdf

(2) 実施内容

① 超電導技術の普及啓発活動（国際超電導シンポジウム）

「第23回国際超電導シンポジウム（ISS2011）」を平成23年10月24日～26日の3日間、江戸川区タワーホール船堀にて開催した。これは国内外の超電導に関する研究や技術開発の成果発表と国際交流を通して、超電導産業技術の開発と実用化の促進、一般社会への普及・啓発を図ることを目的としており、15ヶ国555名が参加した。



シンポジウム会場受付



シンポジウム開会挨拶



世界の第一線で活躍する超電導技術の研究者による講演



② 超電導技術の普及啓発活動（超電導技術動向報告会）

「超電導技術動向報告会」を平成23年5月23日に東京にて開催した。156名が参加し、国内研究機関の研究開発成果や最新トピックスの報告及び熱心な討議が行われた。



動向報告会開会挨拶



基調講演「超電導百周年を迎えて」



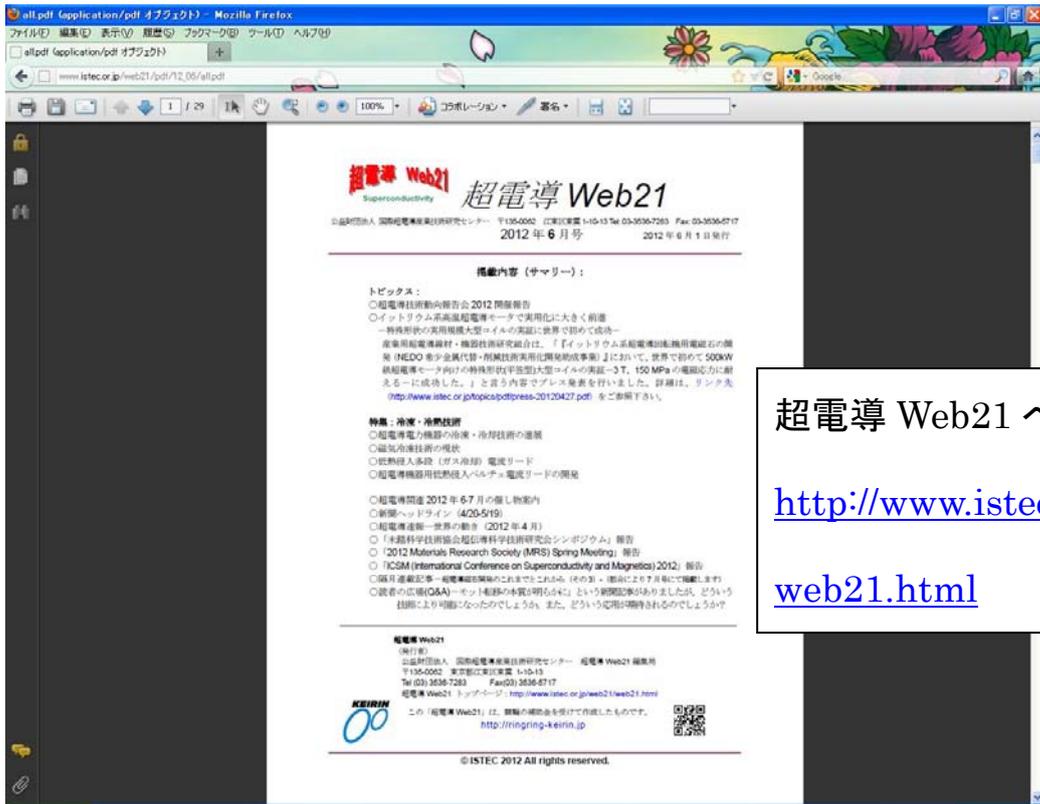
基調講演「超電導の歴史と今後」



講演後の質疑応答の様子

③超電導技術の情報提供事業

超電導に関する国内外の研究開発状況、実用化動向、特許・標準化等の最新情報について電子情報誌「超電導 Web21」にまとめ毎月関係者へ配信するとともに、HPに掲載し広く一般に公開した。配信数 712 箇所、HP アクセス数は日本語版月平均 1,405 回、英語版月平均 334 回であった。



超電導 Web21 へのアクセスは
<http://www.istec.or.jp/web21/web21.html>

電子情報誌 Web21

④ 超電導技術研究開発に関する海外動向調査

欧米の超電導企業活動のうち時事性のある情報について、海外関係機関・企業の Web サイトを調査し、「超電導世界の動き」として電子情報誌「超電導 Web21」に毎月掲載し、関係者へタイムリーに情報提供を実施した。



「超電導世界の動き」の記事 (電子情報誌 Web21 内に月 1 回掲載)

⑤ 超電導産業に関する国際連携推進

国際超電導サミット (ISIS-20) をメンバーに新規加盟した韓国にて平成 23 年 10 月 31 日～11 月 1 日に開催した。日・米・欧・ニュージーランド、韓国、ロシアの超電導研究機関・企業の経営・技術トップが参集し、公開討議を行ない、国際連携の推進を図った。

今回はテーマを「超電導現象発見 100 周年、再生可能エネルギー時代における役割」とし、各国における研究開発動向の他、再生利用可能エネルギー時代における超電導技術の役割、商業化への展望等、26 件もの講演が行われ、参加者数も 50 名と盛況であった。



国際超電導サミット (ISIS-20) の様子

- ① (URL) http://www.istec.or.jp/istec/pdf/H23_ISS.pdf
- ② (URL) http://www.istec.or.jp/istec/pdf/H23_doukouhoukoku.pdf
- ③ (URL) http://www.istec.or.jp/istec/pdf/H23_Web21.pdf
- ④ (URL) http://www.istec.or.jp/istec/pdf/H23_abroad.pdf
- ⑤ (URL) http://www.istec.or.jp/istec/pdf/H23_summit.pdf

2 予想される事業実施効果

① 超電導技術の普及啓発活動（国際超電導シンポジウム）

シンポジウムで発表された最新の研究成果や研究者、技術者間で意見交換された情報が、超電導技術開発のドライビングフォースとなり、本格的な実用化を控えた超電導研究の更なる促進が期待できる。

また、発刊される論文集 Physics-Procedia, Physica-C 特別号の国際的な評価は高く、超電導技術の研究開発における貴重な財産となる。

② 超電導技術の普及啓発活動（超電導技術動向報告会）

超電導研究の実用化のためには、産官学挙げての超電導研究開発に対して、国民から広く理解と協力を得ることが必要である。本報告会にて最近の当財団および大学・国内関係企業等の研究成果とトピックスを報告することにより、広く一般に超電導技術の普及啓発を図ることができた。

③ 超電導技術の情報提供事業

超電導 Web21 へのアクセス数は、日本語で 1400 件/月、英語で 300 件/月以上にのぼり、国内外の技術者・研究者に超電導の研究開発や実用化に関する最新の情報源として広く浸透しており、研究開発の大きな推進力となることが期待される。

また、超電導技術開発に関するタイムリーな情報を提供でき、学生他一般層に対しても超電導技術開発への理解と協力を広げることができる。

④ 超電導技術研究開発に関する海外動向調査

海外の超電導開発、実用化の動きにつき海外のプレス発表等を調査し、タイムリーに情報提供を行うことで、超電導関連企業、機関の方針決定や機動的な対応両面で超電導開発、実用化を支援し、研究開発のドライビングフォースとなる。

⑤ 超電導産業に関する国際連携推進

国際超電導産業サミットで得られた情報や議論は、今後の企業の実用化に向けた取り組みの中で有効に活用されるものであり、また当サミットの参加国数は拡大基調にあり、この場で得られる情報や議論の価値は大きく、関係企業の実用化に向けた取り組みにおいて、大きな価値を持つことが期待される。

3 本事業により作成した印刷物等

① 超電導技術の普及啓発活動（国際超電導シンポジウム）

- ・ ISS2011 1st・ファイナルサーキュラー、プログラム&アブストラクト
- ・ ISS2010 プロシーディングス（2010 年度開催の ISS 論文集）

② 超電導技術の普及啓発活動（超電導技術動向報告会）

- ・ 超電導技術動向報告会 2011 予稿集、ポスター、リーフレット

③ 超電導技術の情報提供事業

- ・ 超電導 Web21（2011 年 4 月号～2012 年 3 月号の各月号（日本語版））
- ・ 2011 年 Summer 号、Fall 号、2012 年 Winter 号、Spring 号（英語版）

※上記成果物は電子媒体のみ、アクセスは下記

（日本語版）<http://www.istec.or.jp/web21/web21.html>

（英語版）<http://www.istec.or.jp/web21/web21-E.html>

④ 超電導技術研究開発に関する海外動向調査

- ・ ISTE C 海 外 情 報 (No.62)

⑤ 超電導産業に関する国際連携推進

- ・ ISIS-20 会議資料集

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名：公益財団法人 国際超電導産業技術研究センター

(コウエキザイダンホウジン

コクサイチヨウデンドウサンギョウギジュツケンキュウセンター)

住所：〒135-0062

東京都江東区東雲一丁目10-13

代表者：理事長 森 詳介 (モリ ショウスケ)

担当部署：総務部 (ソウムブ)

担当者名：主管研究員 安藤拓哉 (アンドウ タクヤ)

電話番号：03-3536-5702

FAX：03-3536-5705

E-mail：<mailto:andou.takuya@ISTEC.or.jp>

URL：<http://www.istec.or.jp>